

平成 21 年度 総会 議事録

- ・ 日 時 : 平成 22 年 6 月 3 日(木)、19:05 ~ 19:55
- ・ 場 所 : 石川県 NPO 活動支援センター「あいむ」会議室
- ・ 出席者 : 五十嵐、稲葉、大西、黍野、木村、村中、山崎、山内、吉田 (9 名)
- ・ 委任状提出者 : なし ・ 欠席 : 2 名
- ・ 議長 : 吉田 ・ 書記 : 村中

1、開会宣言、総会成立宣言 : 事務局(黍野)

「出席9名、会則に従い会員の過半数(6名)以上の出席があり、本総会の成立を宣言する。」

2、議長・書記選出 : 事務局(黍野)

「議長に吉田さん、書記は村中さんをお願いしたい。」 満場一致で承認

3、議長挨拶 : 議長:吉田

「金沢の伝統文化」田中喜男(日本放送出版協会)より、引用。(1972.4.25 発行)

宮本憲一さんのコメントを紹介(上記図書の P.12)

「金沢は、非戦災都市である。非戦災もまた災害といった発言が現れて、非戦災都市の近代化に国の財政投資を求めようとした。昭和39年大阪市立大学助教授宮本憲一氏は、「金沢市を戦災にあわせればよかった、というとき暴論は、歴史の重みを冒瀆するものだ」と批判し、「煙の出る19世紀の町づくりは終わった。これからは、住民の住みよい20世紀の町づくりでなければならない。(中略)金沢は、城下町のまま取り残されたから、いま改めて最も最先端をゆく街づくりをする条件をもっている。」と個性豊かな金沢の都市づくりを提言した。」

われわれ市民会議も、いろいろ苦しい面はあるでしょうが、やはり志は一つにして、金沢のまちのために、これからも勇気を持って、提言していく団体でありたい。…と意を強くしています。

4、議事

議題 1 「平成 21 年度活動報告」 : 事務局(黍野)

別紙「平成 21 年度の活動の概略」に基づき、報告。

(定例会:毎月、各種行事参加:月 1 回程度、その他金沢市のシンポジウム等に参加)

質問・異議なく承認。

議題 2 「平成 21 年度会計報告」 : 会計係(五十嵐)

別紙「平成 21 年度会計報告」に基づき、決算報告書等を報告。

(賛助会員収入等の会費以外の収入はなかったが、活動費の出費も少なかった。)

会計監査は、5 月 29 日に泉野図書館で、今度監事に監査していただいた。

質問・異議なく、全員の拍手により承認。

議題 3 「平成 22 年度役員選出」 : 議長(吉田)

22 年度役員は下記の通り選任された。(全員留任)

代表:吉田 副代表:村中 事務局長:黍野

幹事:五十嵐、稲葉、大西、黍野、木村、藤田、村中、山内、山崎、吉田 (10 名)

監事:今度

議題4 「平成22年度活動方針(案)」の提案及び審議 : 事務局(黍野)

別紙「資料」に基づき、下記の活動方針について審議。

- ・継続活動 ... 「公共交通利用促進市民会議」にて結果報告を予定したい。
ふらっとバスの改善案提案に向けた調査 及び
安全かつ容易に乗降できる「バスの停車位置」についての調査
- ・市から要望のあった事業への取り組み ...
「まちなかシャトル」導入に向けての調査(予備調査)
- ・市の実施事業への参加 ...
まちなか公共レンタサイクル社会実験、 駅・みなとサイクル快遊事業、
かなざわ公共交通利用者会議、 公共交通市民意識啓発活動、
こども公共交通ふれあい事業
- ・当会独自の事業 ...
ふらっとバスの利用促進策「ふらっと マップ」の作成提案、
公共交通利用促進市民会議の改善案・活性化策の提案、
「エコ通勤促進協定」締結企業増への働きかけ

特段の異議はなく、概ねの承認を得た。

議題5 「平成22年度会計予算(案)」の提案及び審議 : 会計係(五十嵐)

別紙「平成22年度会計予算(案)」に基づき、提案
質問・異議なく、全員の拍手により承認。

5、議長団解任 : 事務局

6、閉会宣言 : 事務局

以上

